

救急医学領域の状況認識自己評価票（Emergency Situational Awareness Rating Technique：E-SART）の日本語版開発と妥当性検証の研究について

この度海老名総合病院救急集中治療科科では入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施させていただいております。

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。またプライバシー保護について法令等を遵守し研究を行わせて頂きます。

試料・情報について、本研究への利用をのぞまれない場合は以下担当医師にご連絡ください。

1. 研究目的

研究の目的は、救急医療における状況認識スキルを適切に評価するための主観的評価ツールである日本語版 Emergency SART（以下 E-SART）を開発し、その妥当性を検証することである。

SART は、状況認識をその構成概念に基づいて、主観的に評価するための尺度である。学習者が SART を通じて自身の状況認識を構成概念毎に捉え直すことにより、その重要性への気づきが促され、行動変容につながる可能性がある。

本研究では、SART の原著の翻訳および文化的かつ救急医療への適合性の検討を行い、実験的手法を用いて日本語版 E-SART の妥当性および信頼性を評価する。また、E-SART の実用性についても検討し、今後の教育・評価への応用に向けた基盤の構築を目指す。

2. 研究方法

1) 研究対象

救急科専門医の資格を持つ医師 200 名、救急科専攻医 100 名、初期研修医 100 名

2) 実施期間

2025 年 8 月ごろ（倫理委員会承認後）から 2030 年 8 月 31 日（予定）

3) 研究方法

本アンケートは、開発中の日本語版 E-SART（全 20 項目）と簡単な背景情報（年齢層、経験年数など）から構成されています。回答所要時間はおおよそ 5～10 分程度です。すべての設問は選択式または数値記入であり、自由記述はありません。

Jeong（2022）による K-SART の信頼性・妥当性検証手法を参考に、本研究では日本語版 E-SART の構成概念妥当性および内的整合性の検証を行う。分析は以下の手順で実施する。

① 信頼性の検証

尺度の内的整合性を確認するため、全体の Cronbach の α 係数を算出する。

② 構成概念妥当性の検証

妥当性の検証には、以下の 2 段階の因子分析を行う。

- 探索的因子分析（Exploratory Factor Analysis: EFA）

E-SART の因子構造を明らかにするため、主成分分析（Principal Component Analysis）を実施する。

・ 確認的因子分析（Confirmatory Factor Analysis: CFA）

EFA で得られた因子構造の適合度を確認するため、構造方程式モデリングソフトを用いて CFA を実施する。

モデルの適合度は複数の指標により評価する。

適合度が基準を満たさない場合は、因子負荷量が低い項目を検討・除外し、モデルの修正を行う。

③ 群間比較（オプション）

臨床経験年数による状況認識スコアの違いを確認するため、必要に応じて初期研修医、後期研修医、救急科専門医の 3 群間でスコアの分散分析（ANOVA）または t 検定を行う。

4) 研究成果の公表

本研究で得られた知見は、今後の医療教育や評価手法の開発に活用され、学会発表や論文等で公表される可能性があります、**個人が特定されることはありません**。研究結果は、救急医療における教育の質の向上および安全な医療提供体制の構築に貢献することが期待されます。

3. 試料・情報

4. 外部への試料・情報の提供

個人が特定できる情報(氏名、住所、生年月日など)は除外した形でデータ集積を行います。

データの紛失・改ざん・漏洩などを防ぐためデータベースへのアクセスは ID・パスワード等、適切に管理しています。

収集した匿名化データは海外含む学術研究施設に提供されますが、診療の質評価および研究目的以外には使用致しません。研究成果は個人が特定できないような形で発表を行います。

5. 本研究責任者およびお問合せ先

本研究にご質問がありましたら下記の連絡先までお問合せください。お申し出によりそれ以降の分析から個人データを除外することは可能ですが、お申し出時点より前の分析および発表済の研究結果からの削除は出来ない場合がありますのでご承知くださいますようお願い致します。

施設名 : 海老名総合病院

住所 : 神奈川県海老名市中央 4 丁目 16-1

電話 : 046-233-1311

研究責任者: 救急集中治療科 大坪 里織